

教えて！バスのQ&A

◎市内にはどんなバスが走っているの？

市内のバスは3つに区分され、それぞれの特徴は次のとおりです。

①地域バス（のらマイカー）

高山地域内の東西南北の各線や岩滝線、支所地域内をそれぞれ運行するのらマイカーは、各地域内の公共施設、診療所、店舗などに行くことができます。また、主要なバス停で幹線バスと接続します。

②中心市街地バス（まちなみバス）

まちなみバスは、右回り、左回りの2台のバスで、7時30分から17時30分まで1日各10便、高山の中心部を1周30分程度で巡回します。主なバス停は、高山濃飛バスセンター、市役所、総合病院、観光施設、文化会館、中心商店街などです。

③幹線バス

濃飛バスが運行しています。各支所地域と高山中心部を結び、通院、買物、通学、通勤などの移動を確保します。

◎のらマイカーと幹線バスの乗り継ぎは大丈夫？ 遅れて乗り損ねたりしない？

時間が決まっている高校への通学、総合病院への通院などに利用できるよう、それぞれのバスを時間調整し、乗り継ぎできるようにしています。特別な事情がない限りは、片方のバスの運行が遅れた場合でも、もう片方のバスが待っています。

◎濃飛バスを安く利用できる方法があるの？

高山市民を対象に発行する「市民乗車バス」を使えば、下記の利用の場合にはお得に利用できます。発行場所は、濃飛バスの各窓口のほか、市役所地域政策課・福祉課、各支所地域振興課です。

①同一地域内（旧市町村内）で乗り降りする場合 → 1乗車100円で利用できます。

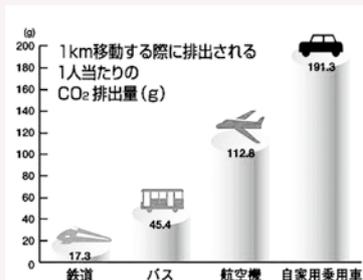
例えば、高山下呂線で石浦町から高山濃飛バスセンターまで行く場合や、朝日線で江名子町から高山濃飛バスセンターまで行く場合などにおいて、100円で利用できます。

②遠距離乗車する場合 → 1乗車上限1,000円で利用できます。

例えば、平湯・新穂高線で高山から平湯へ行く場合（通常1,530円）や、荘川線で高山から荘川へ行く場合（通常1,800円）などに、1,000円で利用できます。

◎バスは環境にやさしいって本当？

下のグラフは、1km移動する際に排出される1人当たりのCO₂排出量を表しています。これを見ると自家用乗用車のCO₂は191.3gで、他の交通機関に比べてかなり多いことが分かります。一方、バスは、自家用乗用車と比較して約4分の1の45.4gであり、例えば通勤手段を自家用乗用車からバスに変えることは、地球温暖化対策の一環として、とても効果的な取り組みといえます。



出典：「地球温暖化対策ハンドブック地域実践編2002/2003」JCCCA

郵便はがき



506-8790



差出有効期間
平成24年
9月30日まで
(切手不要)

高山市花岡町2丁目18番地

高山市役所
企画管理部地域政策課 行



住所	高山市 () 町
	※支所地域の方は下記もご記入ください 地区名(大字) ()
年代	() 歳代
性別	男 ・ 女